

三匠堂の信仰とリクリエイション

関根 正雄

この信仰には、法華経・仏地論などにみる観音菩薩の変身や、方便なる現世利益が弁えられている。

(太田高等看護学院)

三匠堂(さざえ堂)は、三十三観音・百観音などの民間信仰にかかわるわが国特有の仏堂である。栄螺の殻の中を歩むように三回右巡して拝礼のできる建築構造が、寛保元年、江戸本所羅漢寺に創設された。現在この遺構が、弘前長勝寺や群馬曹源寺に残っている。右邊三匠なる仏教の最高儀礼が、建築構造に組み入れられたのは世界でもめずらしい。

庶民は、保安・繁栄・追善・治病を祈り、参詣・参籠・巡礼などを行う。三匠堂では本尊に詣り、並列する多数の仏像を拝して、当座の Pilgrimage が遂行できる。堂の最高層まで登って堂外の自然風景を眺望するとき、それまでの薄光のなかの聖なる環境から、急に現世の明るい風光へ転換され、参詣者には十分のリクリエイション効果が満足される。